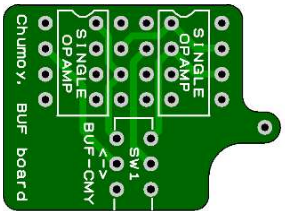
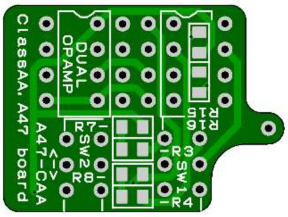
Chumoy/BUF, A47/ClassAA基板



Chumoy/BUF

定数	部品番号等	数量
2.2K or 3.3K or 4.7K 2012サイズ(デフォルト4.7K)	R1,R2 千石 RK73B2ATTD472Jなど	2
10K 2012サイズ	R3,R4 千石 RK73B2ATTD103J	2
丸ピンIC用連結ソケット	秋月 P-01580	2
超小型スライドスイッチ	秋月 P-02627	1
8pin DIPソケット	秋月 P-00035	2
オペアンプ	1回路 Chumoyで実績があり、ユニティゲイン対応のもの	2



A47/ClassAA

定数	部品番号等	数量
33 2012サイズ	R1-R4 千石 RK73B2ATTD330J	4
10 2012サイズ	R5-R8 千石 RK73B2ATTD100J	4
1K 2012サイズ	R9,R10 千石 RK73B2ATTD102J	2
3.3K 2012サイズ	R11,R12 千石 RK73B2ATTD332J	2
2.2K or 3.3K or 4.7K 2012サイズ(デフォルト3.3K)	R13,R14 千石 RK73B2ATTD472Jなど	2
10K 2012サイズ	R15,R16 千石 RK73B2ATTD103J	2
丸ピンIC用連結ソケット	秋月 P-01580	2
超小型スライドスイッチ	秋月 P-02627	2
8pin DIPソケット	秋月 P-00035	2
オペアンプ	２回路 A47/ClassAAで実績のあるものを使うこと。	2

免責事項
1）本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。　技術サポート等は一切行いません。
2）基板の動作の完全性（安全性、動作性を含む）は一切保証されるものではありません。
3）本資料を参考に組み立て（部品調達を含む）が可能な方を対象としています。
4）部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
5）本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
6）本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

組み立てについて

付録のシルク図を参照に部品を実装してください。　部品番号に誤解をあたえそうなところを補足してあります

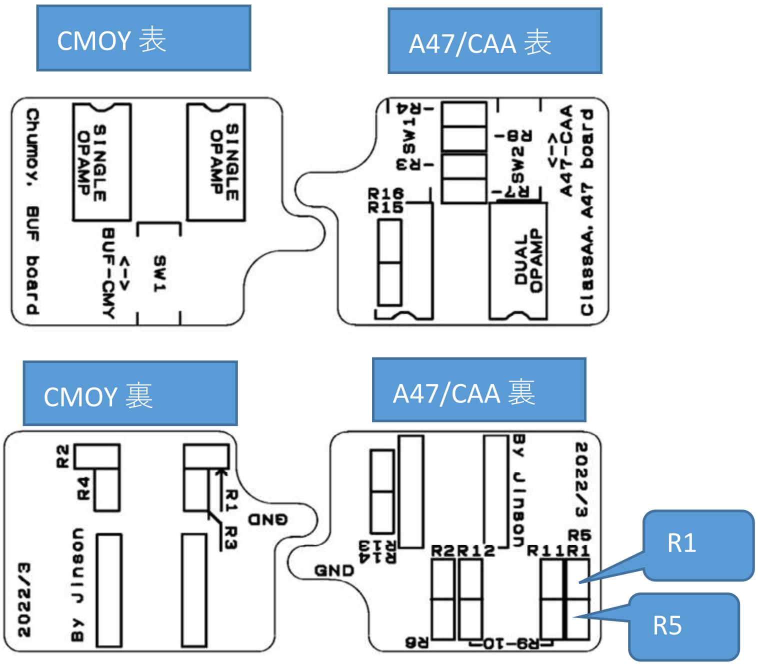
MAXとのGNDの接続は抵抗リードなどで行ってください。　連結ソケットだと長さが合いません。

使い方

Chumoy/BUF基板
イヤフォン、ヘッドフォン、どちらも使う方向けの基板です。
BUF側に切り替えると、ボルテージフォロアになります。これはNosPiDAC MAXの規定の動作なので、
この基板は単なるSingle->DUAL変換として動作しているだけとなります。
Chumoy側に切り替えると、Chumoy動作となりますので、ヘッドフォン等、ゲインが必要なものを駆動したい場合に利用できます。
NosPiDAC MAXがローゲイン、ハイゲイン切り替え対応になるイメージです。

A47/ClassAA
ヘッドフォンを使う方向けの基板です。
A47に切り替えても、ClassAAに切り替えてもゲインに大きな差はありません。
スイッチは２個ありますが、２個とも同じ方向に切り替えてください
定評のあるA47とClassAAの音をスイッチで切り替えて比較できます。
なお、A47の出力抵抗は、R1と、R5（33と10）の合算値である44オームです。
これだとA47じゃなく、A44じゃないか？という方は、以下のように定数を変更することにより、近い値にできます。
R1-R4を36オームに。R11,R12を3.6Kオームに　＝46オーム
R1-R4を39オームに。R11,R12を3.9Kオームに　＝49オーム

ゲインについて
Chumoy/BUF基板は、R1,R2。A47/ClassAA基板は、R13,R14を変更することによりゲインを可変できます。

デフォルトはゲイン低め(4.7K)ですので、ゲインが足りない方は、3.3K,2.2Kなどに変更してください。

シルク図